

科目名	人文社会看護学演習Ⅲ Humanities and social Nursing SeminarⅢ		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510) 浦野 茂 (503) 安部 彰 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	小池 : atsushi.koike@mcn.ac.jp 浦野 : shigeru.urano@mcn.ac.jp 安部 : akira.abe@mcn.ac.jp				
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
科目目的	看護ケアの実践とその対象となる人々の生活経験（日常生活、誕生、病気、障害、死など）をめぐる問題や課題について、履修者の研究テーマと関わりある主題を取り上げ、その心理的・社会的・倫理的側面について検討することにより、理解を深める。										
ディプロ マ・ポリ シー (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。									
	関連する DP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。									
到達 目標	看護ケアの土台を構成している心理的体験と社会的環境・倫理性について、既存の看護実践の捉え直しにもとづき、その新たなあり方を構想し推進できるような能力を獲得することが、この科目の目標です。										
成績評価方法 (基準)	授業における報告（50%）、授業への参加状況（50%）										
教科書	適宜指示します。										
参考書等	適宜指示します。										
受講者への メッセージ	既存の看護実践と医療のあり方やそれらの基本的前提について、看護学からはいったん離れて心理学・社会学・倫理学の観点から検討し直すことができれば、と考えています。										
備考											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション			この授業の目的・概要・進め方について説明する。				全員	講義		
2回	心身医学と行動医学			テーマに関する今日的な課題と展望について討議する。				小池	講義 演習		
3回	疾患と行動			テーマに関する今日的な課題と展望について討議する。				小池	講義 演習		
4回	心理的アセスメント			テーマに関する今日的な課題と展望について討議する。				小池	講義 演習		
5回	心理的援助法			テーマに関する今日的な課題と展望について討議する。				小池	講義 演習		
6回	医療社会学の視点			社会的視点から履修者の研究課題を検討する				浦野	講義 演習		
7回	社会的・歴史的コンテキストから見たヘルスケアシステムと医療実践			医療政策をめぐる歴史的理解を踏まえ、履修者の研究課題を検討する				浦野	講義 演習		
8回	「病いillness」の概念			「病いillness」や「病いの語りillness narratives」の概念を踏まえ、履修者の研究課題を検討する				浦野	講義 演習		
9回	健康・病気と社会構造			健康・病気と社会構造（社会的格差等）との関係をめぐる理解を踏まえ、履修者の研究課題を検討する				浦野	講義 演習		
10回	ディスカッション：看護ケアをめぐる心理・社会・倫理			看護ケアの心理的・社会的側面についての事実理解を振り返りながら、それらをめぐる規範的課題の所在について検討する				浦野	講義 演習		
11回	生命・医療倫理の主要概念（1）			生命・医療倫理の主要概念にかんする先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
12回	生命・医療倫理の主要概念（2）			生命・医療倫理の主要概念にかんする先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
13回	生命・医療倫理の諸問題（1）			生命・医療倫理の諸問題を扱っている先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
14回	生命・医療倫理の諸問題（2）			生命・医療倫理の諸問題を扱っている先行研究を批判的に検討する。				安部	講義 演習		
15回	まとめ			ディスカッションを通じ、心理的側面・社会的側面・倫理的側面からの看護ケアのアプローチの意義について検討する。				全員	講義 演習		